

ニュース 2025 年

8

月号

発行日 : 2025 年 7 月 27 日
発行者 : カトリック横須賀三笠教会
TEL : 046-823-0042
FAX : 046-823-1031

e-mail : mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

あい ゆる
愛と赦し

みかさきょうかいしゅにんしさい まりの ではなくと
三笠教会主任司祭 マリノ・デハクト

しけい もと くに しゃかい
死刑を求めている国は、社会としてゆる
すことができないと言えるでしょう。他人の
いのち うば もの し
命を奪った者は死ななければならないとい
かんが かた か とりっく きほんてき みと
う考え方は、カトリックでは基本的に認めら
れません。フィリピンでは、数年前まで死刑
ふ い り び ん すうねんまえ しけい
が定めていたのですが今は廃止されました。
さだ いま はいし
しかし新聞を見れば、犯罪によって殺され
しんぶん み はんざい ころ
た人がよく報道されています。恐ろしいこと
ひと ほうどう おそ
です。けれども国の人口が多すぎるので少し
くに じんこう おお すこ
でも減ったらいいいのではないかと考えてしま
へ かんが
った人たちもいます。やっぱりひとを許すの
ひと ゆる
は、どこでも難しいです。
むずか

ふくいんしよ てき あい じぶん はくがい
福音書では、「敵を愛し、自分を迫害する
もの いの い え すさま
者のために祈りなさい」とイエス様が

めい てん ちち かんぜん
命じられました。そして天の父が完全である
かんぜん もの
ように、あなたがたも完全な者になりなさ
で し い かんぜん もの
いと弟子たちに言われました。完全な者は
ひと しっぱい ひと
どんな人でしょうか。失敗しない人でしょう
つみ ひと まいにちみ さ で
か、罪のない人でしょうか、毎日ミサに出て
ひと じゆぎよう まな
いる人でしょうか、授業で学んだことは
ぜんぶおぼ ひと
全部覚えている人でしょうか。そうだったら、
い え すさま したが む り
イエス様に従うのは、とても無理なこととし
しっぱい つみ ひと だれ
よう。なぜなら失敗と罪がない人は誰もい
み さ いの じかん さ ぼ
ないはずです。ミサと祈りの時間をサボった
ひと
ことがない人がいるかもしれませんが、
ときどきからだ せいどう たましい
時々体が聖堂にいても魂はどこかに
と ばあい とく
飛んでしまっている場合もあるでしょう。特
せつきよう なが とき
に説教が長い時そんなことよくあります。

い え すさま わたしたち
ですからイエス様は私 達にそういうものだ
もと
けを求めています。

わたしたち まわ ひと たい だれ
私 達は周りの人たちに対して、誰にでも
びようどう ほうし
平 等に奉仕することができればいいので
す きら かんけい みな いっしょ
す。好き嫌いとは関係なく、皆と一緒に
す きりすとしや
過ごすことができればキリスト者として
せいちょう
成 長することができるでしょう。しかし
きょうどうせいかつ なか す ひと
共 同生活の中で過ごしている人たちに
かんたん せいかく あ
は、簡単ではありません。性格が合わない
ひと いっしょ せいかつ むづか
人と一緒に生活するのはなかなか難しいで
むかんしん なん もんだい
す。無関心にすれば何となく問題はなさそう
かん じっさい ころ なか
に感じられるのですが、実際に 心 の中で
しん へいわ かん
は、真の平和は感じられません。そうすると
しんこうせいかつ ふあん み さ なか
信仰生活も不安になります。ミサの中で、も
きら ひと となり すわ へいわ
し嫌いな人が 隣 に座っているならば、平和

あいさつ とき つら
の挨拶をする時は、辛いのではないでしょ
きら しんぷさま み さ
うか。あるいは嫌いな神父様のミサにあずか
かれ かお み いの
ってしまうとき、彼の顔を見るだけで祈りた
くなくなってしまうのではないのでしょうか。で
てき あい どりよく
も、もし敵を愛するように努力するなら、
か てき あい ころ
変わります。敵を愛することによって 心 の
なか しん へいわ う
中で真の平和が生まれるからです。
わたしたち げんだい はくがい
私 達は現代、迫害されていないかもしれ
よ なか しんこう はくがい
ませんが、世の中では、信仰のために迫害さ
きりすとしや
れているキリスト者たちがまだいます。その
ひと しんこう す いの
人たちが信仰を捨てないように祈りましょ
はくがいしや かみさま いか
う。迫害者たちには、神様の怒りによって
ほろ かいしん ころ あた
滅ぼされることなく、回心する 心 が与えら
いの
れるように祈りましょう。

がっしょうかい いんかい ほうこく
7月教会委員会報告

てんれいれき ぎょうじ かつどう
I 典礼歴と行事・活動

ねんかんだい しゅじつ てんれいぶかい きょうかい いんかい
8月 3日(日)年間第18主日 典礼部会、教会委員会

ねんかんだい しゅじつ がいこくせき かた ささ みさ
10日(日)年間第19主日 外国籍の方とともに捧げるミサ

みさ ご せいぼ ひしやうてん さわかい
ミサ後、聖母被昇天の茶話会

15日(金)聖母被昇天ミサ 10:00

ねんかんだい しゅじつ きょうかいがっこう
17日(日)年間第20主日 教会学校

ねんかんだい しゅじつ えいご みさ
24日(日)年間第21主日 英語ミサ

ねんかんだい しゅじつ
31日(日)年間第22主日

ねんかんだい しゅじつ てんれいぶかい きょうかいいんかい
9月 7日(日)年間第23主日 典礼部会、教会委員会

ねんかんだい しゅじつ
14日(日)年間第24主日

ねんかんだい しゅじつ きょうかいがっこう まる こ ふくいんしよ
21日(日)年間第25主日 教会学校、マルコ福音書をよむ

しゅく あき ごうどうついでう み さ おいて み か さきょうかい
23日(火・祝)秋の合同追悼ミサ10:00 於、三笠教会

ねんかんだい しゅじつ えいご
28日(日)年間第26主日 14:00 英語ミサ

ほうこく Ⅱ 報告

だい ち く きょうどうせんきょうしほくほうこく
第4地区共同宣教司牧報告

かみ あい あか ちから そだ ぶもん れんらくかいぎ か き とお おこな
「神の愛を証しする力を育てる部門」連絡会議が下記の通り行われました。

ど おおつきょうかい も に か ほ ー る しゅっせき おくむら いちき
7月19日(土)13:30~15:00、大津教会モニカホール 出席:奥村、市来

よこはまことぎきちよう こめ もうふ しえん こめ がつちゅう
・横浜 寿 町 へのお米と毛布の支援ありがとうございます。お米は7月中になくなるの

げんざいあつ ぶん さつそくかいしゅう ゆき したきょうかいたんどうしゃ
で、現在集まっている分は早速回収します。(雪の下教会担当者)

せんじつ だい ち く ぜんたいかいぎ らうだーと しかんれん まな じっせん とうぶもん ちゅうしん すす
・先日の第4地区全体会議で、ラウダート・シ関連の学びや実践は当部門が中心になって進

い しきょう いこう おおつきょうかい み
めて行くよう、司教の意向がありました。大津教会では「見よ、それはきわめてよかった」(20

ねん がつはっこう べんきょうかい おこな よてい きょうく ぜんたい こうえんかいとう かつどう
24年7月発行)の勉強会が行われる予定です。教区全体として講演会等の活動が

けってい ばあい しょうきょうく じょうほうでんたつ
決定した場合は、小教区へ情報伝達してゆきます。

いわましんぷさま さまざま じょうほう さくそう じだい てふへんてき きょうつうぜん ついきゅう
岩間神父様から:様々な情報が錯綜している時代にあって、普遍的な共通善を追求し

かみ むね したが みな あゆ かみ りんじん しぜん じこ ちょうわ じこ
神のみ旨に従って皆といっしょに歩み、神、隣人、自然、自己との調和をはかり、自己の

らいふすたいる か じゅうよう
ライフスタイルを変えていくことが重要。

じょうきょう み しんり ことば みみ かたむ しきべつ じっせん かみ くに む
< 状況を見る⇒真理の言葉に耳を傾ける⇒識別する⇒実践する⇒神のみ国へ向かって
>

た はいふしりょう どろーだうん ちきゅうおんだんか ぎゃくてん ほうほう
その他配布資料:「ドローダウン」地球温暖化を逆転させる100の方法

いじょう
以上

いの かい はじ
「祈りの会」を始めました

だい かいいの かい がつ にち すい ごぜん じ めい しゅつせきしゃ かいぎしつ おこな
第1回 祈りの会が7月23日(水)午前10時から8名の出席者とともに会議室で行われ
ました。初めての企画でしたので内容について検討中 などもありましたが、この日は
ふらんす こきょうこうこうわしゅう きりす としゃ いの てきすと あらた いの いぎ
フランスコ教皇講話集「キリスト者の祈り」をテキストにして、改めて祈りの意義について
わ あ
分かち合いました。

すい じ よてい ろざりお いの ちゅうしん とな おも
8月は27日(水)10時を予定しており、ロザリオの祈りを中心に唱えたいと思います。ご

つごう よ かた さんか
都合が良い方はどなたでもご参加ください。

さかいのりこ おくむら いちき
酒井範子、奥村、市来

.....

ふくいんせんきょうぶ かい し
福音宣教部会からのお知らせ
よこすか まち さんか
..... 横須賀の街に参加しよう!

ぐんてんほう つど あつ つど ないよう つぎ
7月12日(土)「軍転法の集い」熱い集いでした! 内容は次のとおりでした。

よこすか まち れきし ぐんてんほう きゅうぐんこう し てんかんほう
横須賀の街の歴史と軍転法(旧軍港市転換法)

ぐんてんほうしこう しゅうねん む きかく み
..... 軍転法施行75周年に向けた企画から見えてきたもの

ぐんてんほうせいりつし
軍転法成立史 海軍基地(国有地)と地方税の観点から

かんだがいごだいがくひじょうきんこうし しろ ひでたか
神田外語大学非常勤講師 城 秀孝さん

ぐんてんほう し ぜ
軍転法と「市是」 横須賀市は「平和産業港湾都市」になったのか?

ひかくしみんせんげんうんどう よこすか よこすか へいわせんだん にいくらひろし
非核市民宣言運動・ヨコスカ／ヨコスカ平和船団 新倉裕史さん

ぐんてんほうせいいてい げんしりよくうぼ ぜ ひ
軍転法制定と原子力空母の是非

とき ハ く ひろ ふた じゅうみんじ ち
…… 時を経て繰り広げられた2つの住 民自治のうねり

よこすかしぎかいぎいん おおむらようこ
横須賀市議会議員 大村洋子さん

のうぜい ぐんてんほう
ふるさと納税と軍転法

こむろ
小室たかえさん

ぐんてんほう よこすか せいかつし
軍転法と横須賀の生活史

よこすかしぎかいぎいん
横須賀市議会議員 ふじそのあきさん

こうえんしゃ たさい ないよう はつびよう さんかしや あつ
講演者のみなさん、多彩な内容の発 表 ありがとうございます。参加者のみなさん、熱い
ぎろん たの しゅさいしゃ こうりゅうかい へいかい せんげん お
議論、楽しかったです。主催者として交 流 会で閉会を宣言するのが惜しかったです。

ぐんてんほう じょう しちょうおよ しみん せきむ さだ きゅうぐんこうし しちょう しみん
軍転法8条が「 市長及び市民の責務」を定めています。「旧 軍 港市の市長は、その市民の
きょうりよくおよびかんけいきかん えんじよ へいわさんぎょうこうわんと し かんせい ふだん
協 力 及び関係機関の援助により、平和産 業 港湾都市を完成することについて、不断の
どりよく きゅうぐんこうし しみん ぜんこう しちょう かつどう きょうりよく
努力をしなければならない。旧 軍 港市の市民は、前項の市長の活動に 協 力しなければな
らぬ。」横須賀市民としての責務を新たにしました。

ね ふ せ た い こうえんかい
8月9日(土)「ネフセタイさん講演会」よろしく！

せんせいこうげき き ち まち よこすか ひせん かんが
先制攻撃基地の街、横須賀で非戦を 考 える

ながさきげんぱく ひ か と り っ く へいわじゅんかんきかく
…… 長崎原爆の日・カトリック平和 旬 間企画 ……

こうえんかい
講演会 13:00～14:30

こうりゅうかい
交 流 会 14:30～15:30

こうえんしゃ だ に ー ね ふ せ た い じぜん めっ せ ー じ おお かた さんか
講演者、ダニー・ネフセタイさんから事前にメッセージをいただきました。多くの方のご参加
ま
をお待ちしております。

とうじつ かいじょう ね ふ せ た い つぎ ちょさく はんぱい
当日、会 場でネフセタイさんの次の著作を販売します。
くに し い え す ら え る ゆだやじん か ぐさつか
「国のために死ぬのはすばらしい？ …… イエスラエルからきたユダヤ人家具作家の
へいわろん こうぶんけんきゅう えん ぜいこ
平和論」高文 研 究 2016年12月8日 1,650円(税込み)

いすらえるぐんもとへいし かた ひせんろん よくしりよく かんが
「イスラエル軍元兵士が語る非戦論 …… 「抑止力」という 考 えはもうやめよう」
しゅうえいしゃしんしよ えん ぜいこ
集英社新書 2023年12月15日 1,100円(税込み)

せんそう … もといえすらえるへい だ に ー はなし
「どうして戦争しちゃいけないの？ …… 元イエスラエル兵ダニーさんのお話」
しよぼう えん ぜいこ
あけび書房 2024年3月3日 1,760円(税込み)

10月12日(日)「2025ピースフェスティバル」予定していてね！

と き： 11:00 イベント開始

16:00 イベント終了

ところ： 市役所前公園(三笠公園は改修中のため変更になりました)

三笠教会も昨年に続いて模擬店を出して、フィリピン料理を販売します。「お店の売り」になる人を募集しています。

チケットを買えば「軍港見学船」に乗れます。去年は荒天で出港できなくなり残念でした。今年は「軍港見学」ができるといいですね。

毎月第4日曜11時「出かける教会の体験交流会」予定しています。

「信者アンケート」の分析結果からも、三笠教会の大半の人が具体的な団体の活動に参加

することによって、横須賀の街とさまざまなかかわりをもっていることがわかりました。しかし、その体験が語られ、体験を交流し、伝承されないままに終わっているのが現状です。

アンケート実施チームのメンバーからも参加の体験談をぜひ聞いてみたいという強い意見が出されました。

アンケートの結果は今後、提案の形でまとめられる予定です。それに先立ち、福音宣教会からの誘いです。毎月、第4日曜、11時から「出かける教会の体験交流」やりませんか。

め お た か お
(名 生 尚 雄)

だ に ー ね ふ せ た い め っ せ ー じ
ダニー・ネフセタイさんからのメッセージ
せんせいこうげき き ち まち よこすか ひせん かんが
先制攻撃基地の街、横須賀で非戦を考える

・ ながさきげんぱく ひ か と り っ く へ い わ じ ゅ ん か ん き か く
…… 長崎原爆の日・カトリック平和旬間企画 ……

と き： 8月9日(土)13:00

ところ： 三笠教会聖堂

なん ぎもん
しました。何の疑問もなく。

リベラル家庭に育ったのですが、軍隊はむしろ必要不可欠だという国是は普遍なもので

が ぞ ころげき じょじょ あたま こころ も や も や はじ ねん が ざ ばくげき
ガザ攻撃がありました、徐々に頭と心がヤヤヤし始めて、2008年のガザ爆撃で

ざんぎゃくせい ゆる

す。それ以来 私 は発信を続けています。イスラエル国内の家族や友人、SNSではこういっ

ぎゃくさつ してき つづ おも
虐殺だよ」と指摘し続けなければならないと思っています。



